

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 BNB	 ChainLink	 OKB
中堅	 Bio Protocol	 Plume	 Definitive
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 8/22

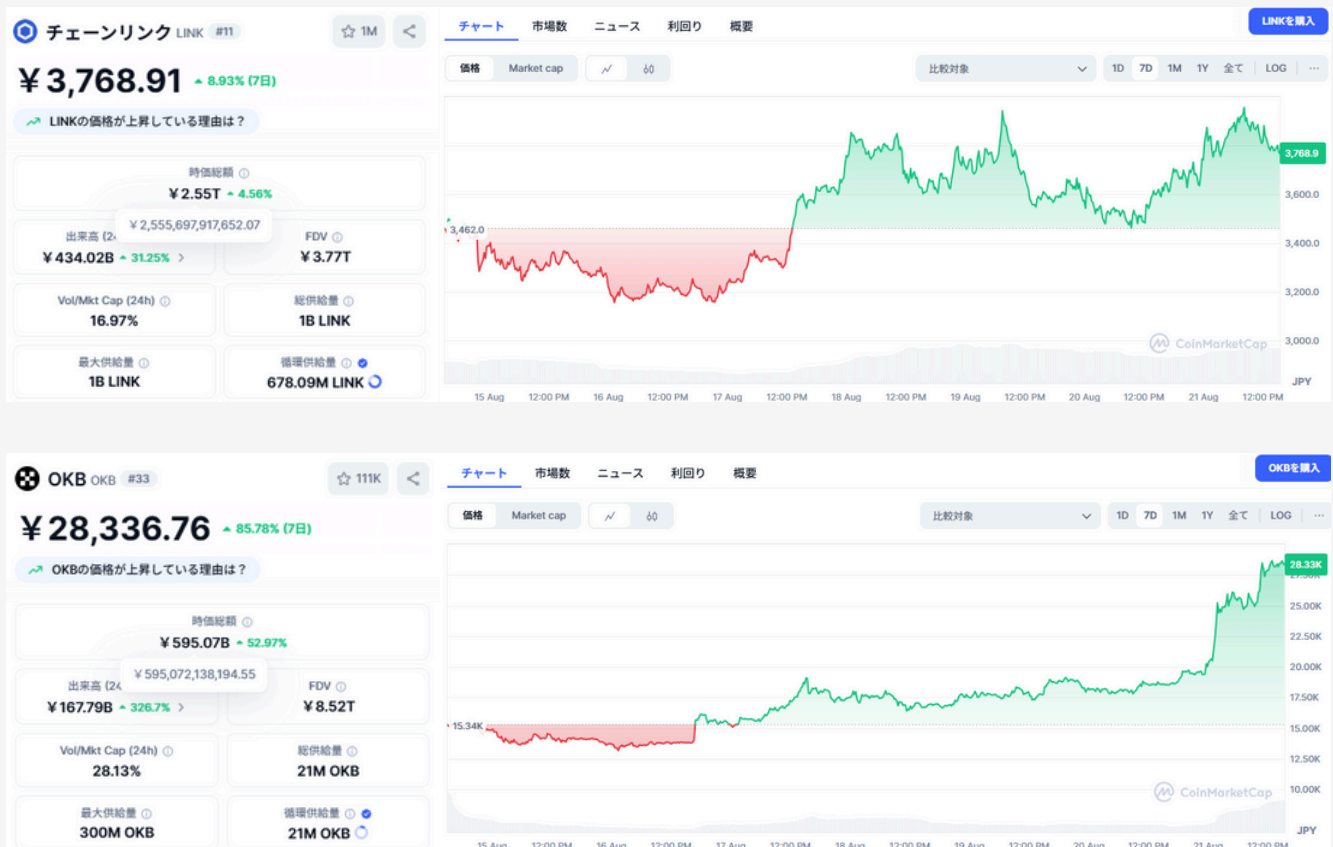
本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#5	 BNB	Layer1	¥17,712,337,422,691	¥127,163.85	4.31倍 (ETH比)	0.86%
#11	 ChainLink	Oracle	¥2,555,697,917,652	¥3,768.91	—	8.93%
#33	 OKB	CEX	¥595,072,138,194	¥28,336.76	29.77倍 (BNB比)	85.78%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**- 6.38%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

BNB：BNB（GOOD）



本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：企業財務の大口取得＋ATH更新

8/11、上場企業CEA Industriesが20万BNB(約1億7,000万ドル規模)の取得を公表。前後の8/14・8/20には過去最高値の報道もあり、機関マネーの流入が可視化されました。企業財務での採用が他社に広がれば現物の買いが続き、需給は引き締まります。オンチェーンの利用や提携が増えるほど、BNBの役割は明確になり、評価の見直しが進む局面に入る可能性があります。

AIによる相場分析：BNB

現在のBNB価格は842ドル（約12.5万円）で、やや下落気味です。短期的には835ドル（約12.4万円）を割ると820ドル（約12.2万円）まで下がる可能性があり、逆に860ドル（約12.8万円）を超えると880ドル（約13.1万円）や900ドル（約13.4万円）を目指せます。中期では800ドル（約11.9万円）、長期では760ドル（約11.3万円）が下支えになりやすい水準です。

Chainlink : LINK (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント： リザーブで自動買い+ICE連携

8/7、Chainlink財団が「Chainlink リザーブ」を開始。これは、Chainlinkのサービス利用料やネットワーク手数料、企業からの収益の一部を、あらかじめ定めたルールで定期的にLINKの買い付けに回す“自動積立”の仕組みです。同時期にICE（インターコンチネンタル取引所。NYSE＝ニューヨーク証券取引所の親会社）と連携が進み、金融機関向けのデータ提供が広がることで利用料が増え、その分だけリザーブによる“自動買い”も増える構造になります。8/14には新たに約4.41万LINK（約1.03百万ドル）がリザーブに追加され、累計残高は10.9万LINK超に達しました。加えて8/19には、新規ウォレット数やアクティブアドレス数が年初来高水準となったとの報告が出ており、採用と利用拡大の実データが示されています。四半期の残高や参加企業が伸び続ければ、2～3カ月で評価見直しが進む見込みです。

AIによる相場分析：LINK

LINKは直近で25.0ドル（約3,675円）まで下落し、短期的に売りが強まっています。25.0ドル（約3,675円）を下回ると24.0ドル（約3,525円）付近まで下がる可能性があります。踏みとどまれば26.0ドル（約3,820円）や27.0ドル（約3,970円）への回復も期待できます。長期では20.0ドル（約2,940円）が大きな支えとなります。

OKB : OKB (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント： 供給半減+X Layerで使い道拡大

8/15、OKXがOKBを一括バーン。総バーンは2億7,899万9,999 OKB（約\$260億）。元の総供給は3億、バーン後は2,100万に固定し、削減率は約93%です。内訳は、過去の買い戻し（約6,526万OKB・トレジャリー）、2019年5月以降の累計バーン2億1,374万3,286 OKB、そして今回の一括で残りを完全除去。8/18に関連動向が報じられました。今後は自社チェーン「X Layer」での手数料や特典でOKBが使われるほど、継続的な実需が生まれます。利用拡大と特典設計の明確化が進めば、中長期の需要は積み上がる見込みです。

AIによる相場分析：OKB

OKBは急上昇し現在約213ドル（約3.1万円）付近にあります。短期では200ドル（約2.9万円）が下支え、上は226ドル（約3.3万円）を超えると240ドル（約3.5万円）を目指す動きが期待されます。ただ勢いが強く買われすぎの状態にあり、一時的な調整で181ドル（約2.6万円）や150ドル（約2.1万円）まで下げる可能性もあります。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 8/22

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#180	 Bio Protocol	DeSci	¥36,735,000,127	¥21.99	—	31.87%
#199	 Plume	Layer1	¥32,007,020,923	¥12.07	461.66倍 (SOL比)	-22.41%
#303	 Definitive	DEX	¥19,099,317,809	¥95.88	107.37倍 (HYPE比)	59.82%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-6.38%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Bio Protocol : BIO

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：実世界収益と連動する仕組み＋取引所展開

8/18、分散型研究組織Cerebrum DAOが脳健康サプリ「Percepta」の臨床試験へ約8万ドルの資金提供を承認し、Bio Protocolはその対価として売上ロイヤリティに連動するCLAWトークンを受け取りました。これにより、BIOトークンは研究成果や製品売上と直接的に価値が結びつく“実社会とリンクしたDeSci銘柄”としての性格を一層強めています。さらに、ステーキング済BIOは1.25億（循環供給の約3.5%）に達し供給が引き締まり、8/19には韓国Bithumbに上場。中長期では、研究成果による収益化が進み、ステーキングと上場拡大で投資アクセスが広がれば、エコシステムの資金循環が太くなる可能性があります。

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

8/18、Binanceに上場し取引開始。同時に全供給の1.5%＝1.5億PLUMEのレトロアクティブ・エアドロップを実施。8/20にはONUS(ベトナム市場で主流)でも上場が発表され、RWA(現実資産)特化のEVM基盤として存在感が拡大。公開済み情報では、200以上のプロジェクトとTVL約3.66億ドル規模を保有。中長期では、上場で流動性と認知を獲得しつつ、RWA案件の実装（発行・清算・保管連携）が広がれば、ネットワーク手数料とトークン需要の積み上がりが期待できます。

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

8/18、暗号資産取引所Biconomyに上場しEDGE/USDT取引が開始。欧州大手フィンテック
Revolutでも取り扱いが始まり、一般ユーザーがアクセスしやすくなりました。さらに約70万
ドル規模のオンチェーン大口取引を実施し、店頭取引より約21%低コストで約定した事例を公
開。これらの動きにより、短期的には流動性が高まり、長期的には「一般投資家が利用しやすくな
る導線」と「大口投資家に対するコスト優位の証明」が揃い、ユーザー層の拡大とトークン需
要の底上げが期待されます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>